

事前評価個表

整理番号	12
------	----

地域（地区）名	ひだがわ 飛騨川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	岐阜県	対象市町村	げろし 下呂市ほか8市町村
事業実施期間	H29 ～ H33（5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、岐阜県の中央東部に位置し、美濃加茂市、加茂郡坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村、下呂市の2市6町1村から構成されている。</p> <p>本地区総面積154千haのうち、森林面積は、133千ha（森林率86%）、対象民有林は107千ha（森林全体の81%）、うち人工林は63千ha（人工林率58%）となっている。</p> <p>また、スギ・ヒノキを主体とする人工林の構成はⅩⅠ齢級10千ha（人工林の15%）をピークに、主に間伐を必要とするⅦ齢級からⅩⅡ齢級は44千ha（人工林の70%）を占めており、適切な森林整備が求められている。</p> <p>しかしながら、本地区も全国の状況と同様に木材価格の低迷による林業の採算性の低下、所有者の経営意欲の減退や林業従事者の人手不足の影響もあり間伐等の手入れが遅れた森林が増加するなど、森林が本来持つ国土保全、水源涵養等の公益的機能の発揮への支障をきたすことが懸念されている。</p> <p>一方、近年、県内で整備されている大型の木材加工施設や木質バイオマス発電所の稼働により、県内の木材需要が強まり、本地区においても豊富な森林資源を活かした安定的な木材供給への機運が高まっている。</p> <p>このような状況を踏まえ、飛騨川地域森林環境保全整備事業計画に基づき、より効率的に施策を実施するための基盤整備や高まる木材需要に対応するために意欲と実行力を有する林業事業者等による、集約化された計画的な森林施策の促進をしているところである。</p> <p>このため、本事業では、森林の有する多面的機能の維持・増進を図るために、効率的な施策に不可欠な路網整備と森林経営計画等に基づく、造林、保育、間伐等の適切な森林整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：9,717ha 人工造林、樹下植栽、下刈、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>路網整備：1,440m 林業専用道</p> <p>総事業費：3,110,593千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 6.33 (総便益(B) = 22,902,387千円、総費用(C) = 3,617,014千円)</p>
評価結果	<p>必要性：水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：間伐を中心とした森林施策を効率的に推進することにより、優良材の安定的な生産に繋がりを、また森林の持つ公益的機能がより高度に発揮されることになり、有効性は高い。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業

都道府県名:岐阜県

地域(地区)名:飛騨川^{ひだがわ}

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	4,821,063	
	流域貯水便益	1,757,017	
	水質浄化便益	3,888,213	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,894,918	
	土砂崩壊防止便益	329,779	
環境保全便益	炭素固定便益	2,905,203	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	8,357	
	木材利用増進便益	17,543	
	木材生産確保・増進便益	4,139,570	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	185	
	森林管理等経費縮減便益	438	
	森林整備促進便益	140,101	
総 便 益 (B)		22,902,387	
総 費 用 (C)		3,617,014	
費用便益比	$B \div C = \frac{22,902,387}{3,617,014} = 6.33$		

森林環境保全整備事業 飛騨川地域(岐阜県)

